

1 総会に関する事項

令和5.5.29 午後2時から国立新美術館講堂において第87回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- | | | |
|------|-------|------------------|
| 審議事項 | 第1号議案 | 不動産売却報告の件 |
| | 第2号議案 | 令和4年度事業報告承認の件 |
| | 第3号議案 | 令和4年度決算承認の件 |
| | 第4号議案 | 平成5年度事業計画書報告の件 |
| | 第5号議案 | 平成5年度収支予算書等報告の件 |
| | 第6号議案 | 定款の一部変更承認の件 |
| | 第7号議案 | 会員人事報告の件 |
| 報告事項 | | 令和5年度称号授与予定者報告の件 |
| | | 第9回日展巡回展開催報告の件 他 |

2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 5. 10	第 1 回	1. 日展新会館の売却益の件 2. 令和4年度・事業報告及び決算承認の件 3. 令和5年度 称号授与予定者承認の件 4. 第10回日展 入場料金承認の件 5. 第10回日展 開催要綱承認の件 6. 第10回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 7. 各委員会（日展ニュース・出版・広報）の新委員承認の件 8. その他 会友資格喪失者承認の件 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 会友辞退者について 第9回日展巡回展神戸会場 決算書について 富士五湖自然首都圏フォーラムとの連携について
令和 5. 7. 20	第 2 回	1. 第10回日展審査員・係承認の件 2. 大臣賞等選考委員会の委員承認の件 報告事項 会友辞退者について 第9回日展巡回展入場者数について 第10回日展巡回展金沢会場の会期について 巡回展基本選定作品の選定について アートシティ富士五湖プロジェクトについて 他
令和 5. 11. 2	第 3 回	1. 会友資格喪失者承認の件 2. 第10回日展巡回展基本選定作品承認の件 3. 第10回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件

令和 6. 3. 22	第4回	<p>報告事項</p> <p>理事長、副理事長の職務執行状況について</p> <p>第10回日展巡回展名古屋会場の会期について</p> <p>河口湖美術館における展覧会開催について</p> <p>退会者、準会員辞退者及び会友辞退者について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第11回日展 関連事項承認の件 <ul style="list-style-type: none"> 会期・覧時間及び入場料金について 出品手数料について 出陳者内覧会について 各科出品者懇親会について 開会式・テープカットについて オープニング・パーティーについて 授賞式について 閉会パーティーについて 会期中のイベントについて 第11回日展 巡回日程(案)について 2. 会員人事承認の件 3. 準会員人事承認の件 4. 会友人事承認の件 5. 令和6年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件 6. 第11回日展開催要綱及び出品申込書について 7. 令和4年度・令和5年度の事業活動等の収支相償の件 8. 令和6年能登半島地震被災者支援策の件 9. 定時総会日時及び予定議案承認の件 <p>報告事項</p> <p>令和4年度決算書における正味財産増減計算書内訳表の一部修正について</p> <p>第10回日展巡回展金沢会場の開催中止について</p> <p>河口湖美術館「日展セレクション展—日本の美をひらく」（仮称）の開催概要について</p> <p>和光「第8回 美の魁け一日展の現代—」展について</p>
-------------	-----	---

3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 5. 10	第1回	1. 令和4年度事業報告及び決算承認の件

4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 7. 4	第1回	1. 審査員候補者の選考承認の件

5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 8. 8	第 1 回	1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 入場券および招待状等印刷物承認の件 4. 特別入場券販売促進に関する件 5. 「日展目録」表紙承認の件 6. 各科展覧会打合せ会承認の件 7. 搬入受付係とアシストに関する件 8. 出品者懇親会に関する件 9. 事務日程に関する件 10. 各科展覧会の記録に関する件 11. その他

6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 9. 27	第 1 回	1. 各科審査主任承認の件 2. 日展審査員行動基準(ガイドライン)等の確認、審査方針承認の件 他

7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 11. 2	第 1 回	1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件

8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 11. 2	第 1 回	1. 東京都知事賞の件

9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 5. 11. 2	第 1 回	1. 日展会員賞の件

10 委員会等に関する事項

諮問委員会

令和5年度における会合は1回開催

(第1回) 令6. 2. 7

主な審議事項

1. 委員の互選により議長・副議長を選出した。(第1回)
2. 第10回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
3. 改革後10年の総括について、事務局より概略を委員に説明、内部委員が各科の状況を述べた後、意見交換を行った。(第1回)

日展運営委員会

令和5年度における会合は3回開催

(第1回) 令5. 4. 28・(第2回) 7. 14・(第3回) 令6. 3. 5

主な審議事項

1. 第10回日展入場料金について協議、検討した。(第1回)
2. 日展新会館の売却益について、積立金の使用目的の項目や金額配分等の案を改めて協議、検討した。(第1回)
3. 特定費用準備資金(第10回日展記念事業)について、事務局より委員に説明後、検討した。(第1回)
4. 令和4年度決算関連事項について協議、検討した。(第1回)
5. 第10回日展開催要綱(案)について確認した。(第1回)
6. 日展運営委員会の組織について意見交換を行った。(第1回)
7. 巡回展関連事項について(基本作品の定数について・大阪市立美術館改修後の巡回展開催について・巡回展における授賞について)協議、検討した。(第2回)
8. 令和6年度日展事業予算案について協議、検討した。(第3回)
9. 第11回日展開催要綱案及び出品申込書案について、変更事項を確認し、意見交換を行った。(第3回)
10. 能登半島地震被災者支援策について意見交換を行った。(第3回)
11. 第2科洋画作品研究会の実施案について意見交換を行った。(第3回)
12. 令和4年度・令和5年度の事業活動等の収支相償について、関連資料の配布、説明があり、理事会に諮ることを確認した。(第3回)

日展ニュース委員会

令和5年度における会合は5回開催

(第1回) 令5.5.23・(第2回) 6.13・(第3回) 8.28・(第4回) 11.17・(第5回) 12.11

主な審議事項

1. ニュース184号の寄稿文(「各地からの出品者の思い」各科入選者1名 計5名/「作家人生ー私の仕事ー」シリーズ2名/新会員のコメント)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース184号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 不定期連載シリーズのうち、コロナ禍のため一時休止している「日展ゆかりの美術館散策」の再開や、「巡回展めぐり」の復活について検討した。(第1回)
4. 新旧委員の合同会議を開催し、経過報告、引継ぎ及び今年度の編集方針を協議した。(第2回)
5. ニュース184号の進捗状況について説明、報告した。(第2回)
6. ニュース185号の掲載内容を検討した。(第2回)
7. ニュース186号の座談会について日程等を検討した。(第2回)
8. 新企画案について意見交換を行い、引き続き検討することとした。(第2回)
9. ニュース185号の寄稿文(各科審査員<ベテラン・新審査員>3名 計15名/「作家人生ー私の仕事ー」シリーズ 等)の校正を行った。(第3回)
10. ニュース185号の掲載内容を検討、決定した。(第3回)
11. ニュース186号の掲載内容を検討し、座談会テーマ・出席者・構成等を検討した。(第3回)
12. ニュース186号の座談会の進行方法や質問事項を検討した。(第4回)
13. ニュース186号の座談会を開催した。(第4回)
14. ニュース186号(座談会)の校正を行った。(第5回)
15. ニュース186号の寄稿文(各科新入選者3~6名 計15名)等の校正を行い、「教えて、作家さん!」の人選を行った。(第5回)
16. ニュース187号の掲載内容を検討した。(第5回)

出版委員会

令和5年度における会合は2回開催

(第1回) 令5.6.13・(第2回) 11.2

主な審議事項

1. 新旧委員の引継ぎを行った。(第1回)
2. 第10回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。なお、書籍の販売価格については、昨年に続き改定することとした。(第1回)
3. 日展目録の広告頁についての意見交換が行われ、広告頁の掲載箇所を変更し、巻末にまとめて掲載することを決定した。(第1回)
4. 早期納品のため、またコロナ禍ということもあり、委員による色校正をここ数年取りやめていたが、業者による色校正に対する不満の意見が出され、検討の結果、委員による色校正を復活することとなった。(第1回)
5. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
6. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
7. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
8. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
9. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
10. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)

広報委員会

令和5年度における会合は4回開催

(第1回) 令5. 4. 28・(第2回) 6. 13・(第3回) 9. 4・(第4回) 令6. 3. 5

主な審議事項

1. 第10回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回)
2. 新旧委員の合同会議を開催、前年度広報活動報告の後、第10回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第2回)
3. 日展作家インタビューの人選、内容について検討した。(第1回・第2回)
4. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回)
5. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回)
6. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第2回)
7. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回)
8. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第3回)
9. 第10回日展のイベント企画案について検討した。(第2回・第3回)
10. 第10回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第2回・第3回)
11. 第10回日展の映像の撮影、編集について検討した。(第3回)
12. 令和5年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容及び実績について報告、問題点を検討した。(第4回)
13. 令和6年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第4回)

アートプロジェクト

令和5年度における会合は1回開催

(第1回) 令5. 5. 15

主な審議事項

1. 令和5年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」)を検討した。(第1回)

アートプロジェクトの令和6年5月2日現在のメンバー(オブザーバー含む)は下記の通り。

[アートプロジェクト]

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	佐藤 哲
茅野 吉孝	桑原 富一	佐藤 祐治	田中 里奈	田辺 知治	中島 健太
前田 潤	山田 朝彦	寺山 三佳	中原 篤徳	廣川 政和	山崎 茂樹
吉岡 徹	相武 常雄	青木 宏憧	上原 利丸	林 香君	福富 信
小島 泰明	高木 聖雨	井上 清雅	植松 龍祥	岩井 秀樹	

11 「日本美術展覧会」の開催

第10回日本美術展覧会

1. 会 期 令和5年11月3日より11月26日まで 21日間

〔休館日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	343 (+4)	1,463 (-112)	95 (+10)	605 (-6)	8,822 (+246)	11,328 (+142)
入選点数	165 (+11)	590 (+43)	68 (+2)	434 (-20)	1,112 (+23)	2,369 (+59)
新入選点数	25 (+12)	58 (±0)	17 (+6)	31 (+9)	166 (-27)	297 (±0)

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	165 (+11)	590 (+43)	68 (+2)	434 (-20)	1,112 (+23)	2,369 (+59)
無鑑査	132 (+1)	122 (-1)	146 (-6)	118 (-3)	145 (+2)	663 (-7)
計	297 (+12)	712 (+42)	214 (-4)	552 (-23)	1,257 (+25)	3,032 (+52)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 宮田 亮平

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	田中 正之 内藤 栄	篠 雅廣 土方 明司	齊藤 泰嘉 武田 厚	岡部 友子 佐藤 道信	神崎 充晴 弓野 隆之
	◎福田 千恵 ◎村居 正之 由里本 出 岸野 圭作 中村 徹 能島 浜江 松崎 十朗 石原 進 稲田亜紀子 片山 侑胤 川嶋 涉 川田 恭子 中村 文子 藤島 博文 丸山 勉 南 聡 青田 賢蔵	◎小灘 一紀 湯山 俊久 高梨 芳実 竹久 秀樹 西田 伸一 西房 浩二 松田 茂 青島紀三雄 浅見 文紀 小川 満章 佐藤 祐治 阿部 良広 池上わかな 河本 昭政 中島 健太 堀 研一 本田 年男	◎能島 征二 山本 眞輔 竹谷 邦夫 堤 直美 中辻 伸 野間口 泉 石田 陽介 江藤 望 河村 佳則 櫻井 真理 清家 悟 中村 優子 堀内 有子 元田 木山 野添 浩一 牧田 法子 安田 陽子	井隼 慶人 ◎三田村有純 大樋 年雄 高橋 貞夫 石川 充宏 春日井路子 志観寺範從 高津 明美 橋本 昇三 横山喜八郎 上森 四郎 林 香君 古瀬 政弘 伯耆 正一 吉水 絹代 武田 司 福富 信	黒田 賢一 ◎高木 聖雨 真神 巍堂 伊藤 仙游 木村 通子 森嶋 隆鳳 吉澤 鐵之 吉澤 劉石 綿引 滔天 池田 毓仁 稲村 龍谷 大橋 洋之 川合 玄鳳 鈴木 赫鳳 長井 素軒 藤川 翠香 宮負 丁香

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	由里本 出 ○岸野 圭作 中村 徹 能島 浜江 松崎 十朗 石原 進 稲田亜紀子 片山 侑胤 川嶋 涉 川田 恭子 中村 文子 藤島 博文 丸山 勉 南 聡 青田 賢蔵	高梨 芳実 竹久 秀樹 ○西田 伸一 西房 浩二 松田 茂 青島紀三雄 浅見 文紀 小川 満章 佐藤 祐治 阿部 良広 池上わかな 河本 昭政 中島 健太 堀 研一 本田 年男	竹谷 邦夫 ○堤 直美 中辻 伸 石田 陽介 江藤 望 河村 佳則 櫻井 真理 清家 悟 中村 優子 堀内 有子 元田 木山 野添 浩一 牧田 法子 安田 陽子	大樋 年雄 高橋 貞夫 ○石川 充宏 春日井路子 志観寺範從 高津 明美 橋本 昇三 横山喜八郎 上森 四郎 林 香君 古瀬 政弘 伯耆 正一 吉水 絹代 武田 司 福富 信	○真神 巍堂 伊藤 仙游 木村 通子 森嶋 隆鳳 吉澤 鐵之 吉澤 劉石 綿引 滔天 池田 毓仁 稲村 龍谷 大橋 洋之 川合 玄鳳 鈴木 赫鳳 長井 素軒 藤川 翠香 宮負 丁香

6. 授 賞

大臣賞	第1科	内閣総理大臣賞	西田 真人	懐
	第2科	内閣総理大臣賞	西房 浩二	Smorzando
	第3科	文部科学大臣賞	嶋畑 貢	青春の詩「祈り」
	第4科	文部科学大臣賞	河野 榮一	宙 船
	第5科	文部科学大臣賞	有岡 郊崖	僧善住詩

東京都知事賞	第1科	古澤 洋子	地球のドラマ
	第2科	佐渡 一清	影
	第3科	九後 稔	わ
	第4科	武腰 一憲	月の器・想日
	第5科	田頭 一舟	風 華

日展会員賞	第1科	川嶋 涉	泣く雨
	第2科	浅見 文紀	小さな冬景色
	第3科	宮坂 慎司	singing figure V
	第4科	西片 正	夏が征く
	第5科	森嶋 隆鳳	韋應物詩

特 選

第1科	池田 睦月	いのち赫く	岡本 徳子	過ぎゆく夏
	小木曾 登	蓮	川島めぐみ	迎へびと
	久保 嶺爾	古梅香香(飛鳥)	鈴木 一正	観 想
	竹内 昌二	舟 屋	福田 季生	天体観測
	三上 友子	蓮	三谷 佳典	夜の隙間
第2科	内海 洋江	映 る	大木 基彰	悠 然
	越谷なつみ	謔	鷺 悦太郎	ショート ブレイク
	橋浦 尚美	ベランダ	平野 克己	化石の海
	福本 弥生	time on the table	松井 茂樹	ロマネスク追憶
	宮下 陽子	ザンスカールの祭り	吉田 定	木造船 '23
第3科	石母田ななみ	のどけからましII	加藤 真浩	馳 す
	窪 信一朗	まなざし	桑原 秀栄	礎
	高橋 忠	彩 雲	田原迫 華	パンジーは俯瞰する
	最上 健	進化と朽滅	諸井 謙司	晴間への誘い
第4科	石上久美子	水・土・命 5	石黒 美男	風に乗って
	井上 英基	紆 濤	岩渕 浩之	円 舞
	織田 定男	深層の情景	加藤 丈尋	宙
	上端 伸也	silhouette	谷口 信夫	大地のうた
	野村 裕皓	上弦の月	平林 芳子	KEEP OUT
第5科	池永 碧濤	趙介詩	石川 青邱	彪 如
	大崎 雨菽	五 月	尾崎 司邑	白楽天詩
	河合 鷹山	もみぢ	川上 鳴石	吉野川
	時崎 伍鳳	李白詩	豊原 睦子	春の夕暮れ
	筈井 淳	討 伐	古溝 幽畦	驪歌愁絶

7. 入場者数 合計 88,503人 (21日間)

() 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	10,476 (+708)	招 待 券	32,170 (+2,303)
学 生 券	0 (-1,055)	美 術 学 生 券	0 (-603)
トワイライトチケット (一 般)	2,705 (+177)	小中学生無料鑑賞券	4,105 (+517)
トワイライトチケット (学 生)	0 (-411)	学生 (高・大) 無料	4,042 (+4,042)
一般券 (場外売)	311 (-189)	資 格 証	19,502 (+4,821)
学生券 (場外売)	0 (-3)	優 待 証	1,094 (+688)
一 般 団 体 券	774 (+724)	美術家連盟・評論家連盟	419 (+39)
学生団体[高・大]券	0 (-367)		
一 般 前 売 券	1,440 (-652)		
学生前売[高・大]券	0 (-92)		
特 別 入 場 券	11,139 (+1,128)		
新聞販売店用チケット	326 (-406)		
計	27,171 (-438)	計	61,332 (+11,807)

※今回、第10回記念として学生(高大生)無料

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
11/2	木	3,348	11/15	水	3,687
11/3	金・祝	7,304	11/16	木	4,394
11/4	土	3,587	11/17	金	2,704
11/5	日	2,846	11/18	土	4,389
11/6	月	2,162	11/19	日	4,639
11/7	火	休館日	11/20	月	4,650
11/8	水	2,678	11/21	火	休館日
11/9	木	2,849	11/22	水	4,828
11/10	金	2,217	11/23	木・祝	6,668
11/11	土	3,618	11/24	金	4,093
11/12	日	3,868	11/25	土	5,324
11/13	月	3,284	11/26	日	5,366
11/14	火	休館日	計		88,503

※11/2は出陳者内覧会

巡回日展

第9回展分を1会場、第10回展分を3会場、計4会場で開催。

	開催地	開催期間	会場	開催者	入場者数(人)
第9回展	富山	R 5. 4.21～ 5. 7	富山県民会館美術館	北日本新聞社	14,285
第10回展	京都	R 5.12.23～R 6. 1.20	京都市京セラ美術館	日展京都展実行委員会	23,291
	名古屋	R 6. 1.24～ 2.12	愛知県美術館ギャラリー	中部日展会	30,037
	神戸	2.17～ 3.24	神戸ゆかりの美術館 神戸ファッション美術館	神戸市・公益社団法人日展 神戸新聞社	38,927

12 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

(整理券配布)

11月4日 (土)	(日本画) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者(特選) 岡本徳子・小木曾 登・鈴木一正・竹内昌二・福田季生・三上友子・三谷佳典 今年度審査員と新入選者による座談会 審査員 稲田亜紀子・川田恭子・中村 徹・中村文子・松崎十朗・丸山 勉 新入選者 荒井悦子・筏 由美子・大竹しおり・賀川英広・崔 由依子・矢田部あみ (司会)川嶋 渉
11月10日 (金)	(彫刻) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	「ぶらっと彫刻を楽しむ」 第1部 日展編 第10回日展の見どころ 第2部 地元で愛される彫刻(西日本編) 第3部 彫刻が楽しめる美術館編 出席者 清家 悟・吉居寛子・田丸 稔・白石恵里 (司会・進行)寺山三佳 (コメンテーター) 中原篤徳
11月11日 (土)	(洋画) 午後 1:00～3:00 ※途中10分休憩	座談会「今年度審査員と新入選者による座談会」 審査員 佐藤祐治・中島健太 新入選者 中嶋優子・羽賀裕子・吉田留美 座談会「今年度審査主任と特選受賞者による座談会」 審査主任 小灘一紀 特選受賞者 鷺 悦太郎・福本弥生・松井茂樹・吉田 定 (司会・進行)石田宗之 大友義博
11月18日 (土)	午後 2:00～3:30	(特別対談) 「美しいものは、人をポジティブにする」 デザイナー コシノジュンコ 氏 × 宮田亮平理事長
11月 23日 (木・祝)	(工芸美術) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウム「伝承と発信」 (1部) 西片 正・石上久美子・石黒美男・井上英基・岩渕浩之・織田定男 加藤丈尋・上端伸也・谷口信夫・野村裕皓・平林芳子 (2部) 井上雅子・大中原由紀・杉尾 緑・中村ノリコ・半下石礼子・平野英史・藤田 学・ホンムラモトゾウ・三田村有芳・南 昌伸・山岸青矢 (進行)石川充宏
11月25日 (土)	(書) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウムによる討論会「日展の書」 森嶋隆鳳・木村通子・綿引滔天・大橋洋之・川合玄鳳 (司会・進行)牛窪悟十 映像による作品解説「書」 松清秀仙・倉橋奇艸・岡野楠亭 (司会)井上清雅

※参加人数 654名(6日間 座談会3回、シンポジウムによる討論会2回、作品解説2回、対談1回)

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	彫刻	昼食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月13日 (月)	米倉正美	片岡世喜				
11月20日 (月)	伊東正次	丸山 勉	間島博徳		歳森芳樹	山岸大成

◆参加人数・・・30名（会期中の3日間、全3回 11/13は希望により2部門、11/6は希望者1名のため中止）

ニ 解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 第10回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日、11月10日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・487名参加（10日間）

13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月5日 (日)	午前 10:30～	能島浜江 丸山 勉 米田 実	天野富美男 桑原富一 西山松生 小川満章			井上清雅 河西樸堂 吉澤劉石
	午後 2:00～			吉岡 徹 廣川政和 小関良太 鈴木紹陶武 元田木山 (サポート) 山田朝彦	武田 司 川口 満 山口和子 齋藤卯乃 井上絵美子 青木宏憧	
11月12日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 中村賢次 北村恵美子	井上 武 菊池元男 星川登美子 佐藤祐治			大澤城山 寺岡棠舟 稲村龍谷
	午後 2:00～			中原篤徳 寺山三佳 中村優子 吉岡 徹 上田ふみ 野添浩一 (サポート) 山田朝彦	福富 信 林 香君 伯耆正一 曾根洋司 小割哲也 村越郁夫 山本由紀子	
11月19日 (日)	午前 10:30～	川田恭子 野田夕希 森 美樹	田辺知治 栗原高光 倉林愛二郎 久保博孝			植松龍祥 野田杏苑 岩村節廬
	午後 2:00～			野原昌代 原田治展 村山 哲 安田陽子 吉岡 徹 牧田法子 (サポート) 山田朝彦	古瀬政弘 勝 孝 中村三喜雄 小島泰明 桜田知文	

◎総参加人数 85 組 213 名

わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 357 通

夏休み1日ART体験「第18回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月18日から8月22日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの人が訪れた。

※共同制作の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月22日 (土)	彫刻	吉岡 徹 寺山三佳 堀内有子 鈴木紹陶武 安田陽子 (サポート) 小橋暁子 宮地淑江 (ボランティア) 音羽久美子 (オブザーバー) 山田朝彦	13:30 ～ 16:00	20組 34名	<ul style="list-style-type: none"> ・『〇〇が飛んでいく！』 —吊るす彫刻を作ろう！— ●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。 ●(子供) 芯棒で形を作り、紙粘土でイメージした形の肉付けをする。 ●吊るすための金具を取り付ける。 ●講評。片付け。 ●(中学生・保護者) テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。
7月29日 (土)	工芸美術 (染)	早瀬郁恵 安藤タヅ子 上原利丸 中村美紀 石原真理 平林芳子 (サポート) 林 香君	13:30 ～ 16:00	16組 27名	<ul style="list-style-type: none"> ・『色のカタチ』 —万華鏡のように布を染めてみよう— ・布を三角形や四角形に折りたたんで幾何学模様をつくり、ハンカチを染める。 ●染織、染料に関する基礎知識。染の技法を知る。 ●布を三角形や四角形に折りたたんで幾何学模様をつくり、ハンカチを染める。 ①小さい布を染める (2枚程度) ②45cm×45cmのハンカチ ●刷毛を使って自由に染め、色の重なり、滲みを体験する。 染色工程：布を折りたたむ→染色→蒸し→洗い(ソーピング)→乾燥 ●干して乾燥。 ●講評、片付け。

7月30日 (日)	日本画	亀山祐介 川田恭子 能島浜江 岩田壮平 米谷清和 (サポート) 野田夕希 安田敦夫 櫻井伸浩	13:30 ～ 16:00	18組 39名	<ul style="list-style-type: none"> ・『板絵で絵師に挑戦!』 ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法を学ぶ。 ●制作の工程を説明。 作家のデモンストレーション ●桐の板に、各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす ●並べてみる。仕上げ。 ●講評。片付け。 ○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。
8月4日 (金)	書	井上清雅 綿引滔天 植松龍祥 岩井秀樹 (サポート) 角田大壤 松浦龍坡 斎藤真澄 尾花太虚 滑田燿齋 (監督) 高木聖雨	13:30 ～ 16:00	21組 38名	<ul style="list-style-type: none"> ・『毛筆文字に親しもう!』 ・木の板に好きな文字を書く。 自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。 ●木の素材に自分の名前や好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。 ●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●オリジナル切手用に一文字の作品を仕上げる。 ●講評。作品撮影。片付け。 ●後日(→つくった作品を切手に)
8月5日 (土)	洋画	田辺知治 桑原富一 佐藤祐治 田中里奈 星川登美子 (オブザーバー) 佐藤 哲	13:30 ～ 16:00	22組 35名	<ul style="list-style-type: none"> ・『どんな顔だろう?』(油彩) ●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。 ●作家のデモンストレーション ●F4のキャンバスを使い、鏡を見ながら自分の顔を木炭でスケッチ。 ●油彩で着色。 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●額に入れてみる。講評。片付け。

実施内容(共同制作)	
※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	<p>『バイキン君とタタカウ君こんな生き物がいたらいいな』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●『バイキン君とタタカウ君』というテーマで、バイキンのいろいろな姿と、それと戦う人や機能をイメージして、0号の麻紙ボードに描く。 ●担当作家が描いたバックに、麻紙ボードを貼っていく。
洋画	<p>『それぞれの平和』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油彩で0号のキャンバスボードに「平和」のイメージを描く。 ●作家が描いた背景に、キャンバスボードを貼っていく。
彫刻	<p>『ウミウシ』ー海の宝石ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海の宝石といわれる『ウミウシ』を、カラフルな粘土やビーズなどで制作する。 ●作家の用意した背景のパネルに「ウミウシ」を取り付ける。
工芸美術 (染)	<p>『みんなの万華鏡』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●布を三角形や四角形に折りたたんで幾何学模様をつくり、ハンカチを染める。 ●染めた布を組み合わせ、つないで一つの作品を制作する
書	<p>『筆と友だちに』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 97 組 173 名

14 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（令和5年度中に刊行または印刷）

第10回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
- [発行日] 令和5年11月3日
- [発行部数] 3,000部
- [定 価] 100円 [税込]
- [内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
- [表 紙] 佐藤 哲
- [製 作] 株式会社新協

第10回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）160頁 591点掲載
- [発行日] 令和5年11月3日
- [発行部数] 2,800部
- [定 価] 3,400円 [税込]
- [内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
作家名・作品題名の英訳（巻末）、諸資料掲載
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文（書）掲載 40頁
- [表 紙] 福田千恵・佐藤 哲・宮瀬富之・奥田小由女・星 弘道（出品作・部分）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第10回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 297点掲載
- [発行日] 令和5年11月8日
- [発行部数] 1,400部
- [定 価] 3,400円 [税込]
- [内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 福田千恵（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第10回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）166頁 712点掲載
- [発行日] 令和5年11月8日
- [発行部数] 2,600部
- [定 価] 3,400円 [税込]
- [内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 佐藤 哲（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第10回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）56頁 214点掲載
[発行日] 令和5年11月8日
[発行部数] 600部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 宮瀬富之（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第10回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）118頁 552点掲載
[発行日] 令和5年11月8日
[発行部数] 1,300部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 奥田小由女（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第10回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）220頁 カラー211点、モノクロ1,246点、合計1,257点掲載
[発行日] 令和5年11月8日
[発行部数] 3,300部
[定 価] 3,400円 [税込]
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 星 弘道（出品作）
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）
[定 価] 400枚単位—25,000円 [税込]（売店販売定価1枚—150円 [税込]）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式会社

カラー写真

- [判 型] キャビネサイズ（12.7cm×17.8cm）
[定 価] 10枚単位—6,600円 [税込]（売店販売定価1枚—400円 [税込]）
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

日展ニュースの発行

第184号	令和5年6月30日発行	発行部数	20,000部
第185号	令和5年9月30日発行	発行部数	35,000部
第186号	令和6年2月26日発行	発行部数	20,000部

15 美術に関する研究及び調査

日展会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第16回プラチナアート大賞展2023	絵画作品	令和5年 5月19日～5月21日	日展会館
慶應義塾中等部 美術部 OB・OG・現役展	絵画作品	令和6年 1月18日～1月21日	日展会館
第3回スケッチ研究会作品展	絵画作品	令和6年 3月8日～3月10日	日展会館

(会議・研究会・教室等 使用団体)

池袋絵画研究会
一般社団法人 新極美術協会
芥子園研究会
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会
公益社団法人 日本彫刻会
秀彩会
新日春会
新日本美術協会
スケッチ研究会
東陶会
白日会
蒔絵の会

(令和5年度会館スペース貸出収入) *金額は税込
合計 1,007,100円 前年度比 -297,750円

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第18回Oneday Art 作品発表会	ワンデイアート参加者の 制作による日本画・洋画・ 彫刻・工芸美術・書作品	令和5年 8月18日～8月22日	日展会館